

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業実績報告書

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔栃木県教育委員会〕

1 事業実施期間 平成25年4月23日～平成26年3月25日

2 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校(中学校)	益子町立益子中学校	14(2)	387
連携校 (拠点校中学校区内の小学校)	益子町立益子小学校	14(2)	318
	益子町立益子西小学校	14(2)	347
		()	
		()	

※学級数の()には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

3 意識調査(アンケート共通項目)

(%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全年	前年①	402	72.9	22.6	4.0	0.5	73.9	22.1	3.8	0.2	50.7	43.8	5.0	0.5	38.6	51.5	8.4	1.5
		前年②	399	72.7	22.1	4.5	0.8	73.4	23.8	1.8	1.0	39.6	51.9	7.8	0.8	30.8	57.4	11.0	0.8
		本年①	374	65.5	30.2	3.5	0.8	69.3	26.2	4.3	0.3	45.2	46.5	7.2	1.1	38.5	52.4	8.8	0.3
		本年②	366	68.9	26.5	4.1	0.5	75.1	20.5	3.3	1.1	43.2	49.5	6.8	0.5	28.1	56.0	15.6	0.3
	3	中2①	143	79.0	19.6	1.4	0.0	80.4	17.5	4.0	0.7	48.3	46.2	4.1	1.4	30.1	61.5	7.0	0.4
		中2②	141	73.0	19.9	6.4	0.7	75.9	20.6	1.4	2.1	39.7	51.8	6.4	2.1	25.5	58.9	14.9	0.7
		中3①	143	65.0	31.5	2.1	1.4	69.9	26.6	3.5	0.0	43.4	47.6	7.7	1.4	24.5	63.6	11.2	0.7
		中3②	137	75.2	19.7	4.4	0.7	78.8	16.1	3.6	1.5	51.1	42.3	6.6	0.0	20.4	56.9	21.9	0.7
	2	中1①	132	79.5	18.9	1.6	0.0	78.0	20.5	1.5	0.0	61.4	35.6	3.0	0.0	59.8	36.4	3.8	0.0
		中1②	132	77.3	18.9	2.3	1.5	78.8	19.7	0.8	0.8	43.2	49.2	7.6	0.0	40.2	54.5	3.8	1.5
		中2①	127	66.1	28.3	4.7	0.8	70.9	23.6	4.7	0.8	46.5	49.6	3.1	0.8	45.7	45.7	8.7	0.0
		中2②	132	62.1	32.6	5.3	0.0	69.7	25.8	3.8	0.8	44.7	46.2	8.3	0.8	35.6	55.3	9.1	0.0
1	小6①	109	68.8	25.7	4.6	0.9	77.1	21.1	0.9	0.9	47.7	45.9	3.7	2.8	54.1	36.7	7.3	1.9	
	小6②	110	66.4	28.2	3.6	1.8	74.5	24.5	0.9	0.0	56.4	39.1	2.7	1.8	58.2	37.3	4.5	0.0	
	中1①	104	65.4	30.8	3.8	0.0	66.3	28.8	4.8	0.0	46.2	41.3	11.5	1.0	49.0	45.2	5.8	0.0	
	中1②	97	69.1	27.8	2.1	1.0	77.3	19.6	2.1	1.0	29.9	63.9	5.2	1.0	28.9	55.7	15.5	0.0	
小学校	高学年	前年①	210	64.3	29.5	5.2	1.0	80.5	17.1	1.9	0.5	47.6	44.8	5.7	1.9	57.1	34.8	6.7	1.4
		前年②	212	66.5	28.3	3.3	1.9	72.2	25.5	2.4	0.0	51.4	43.4	3.3	1.9	52.8	42.5	4.7	0.0
		本年①	239	57.3	32.6	7.1	2.9	67.4	27.6	5.0	0.0	42.7	46.9	10.0	0.4	55.2	41.0	2.5	1.3
		本年②	236	58.1	36.4	4.2	1.3	76.7	20.8	2.1	0.4	44.5	44.9	10.2	0.4	53.0	40.3	5.5	1.3
	6	小5①	101	59.4	33.7	5.9	1.0	84.2	12.9	2.9	0.0	47.5	43.6	7.9	1.0	60.4	32.7	5.9	1.0
		小5②	102	66.7	28.4	2.9	2.0	69.6	26.5	3.9	0.0	46.1	48.0	3.9	2.0	47.1	48.0	4.9	0.0
		小6①	104	62.5	30.8	4.8	1.9	72.1	24.0	3.8	0.0	41.3	47.1	11.5	0.0	57.7	39.4	2.9	0.0
		小6②	103	63.1	31.1	4.9	1.0	79.6	17.5	1.9	1.0	50.5	39.8	9.7	0.0	61.2	34.0	4.9	0.0

5	小5①	135	53.3	34.1	8.9	3.7	63.7	30.4	5.9	0.0	43.7	46.7	8.9	0.7	53.3	42.2	2.2	2.2
	小5②	133	54.1	40.6	3.8	1.5	74.4	23.3	2.3	0.0	39.8	48.9	10.5	0.8	46.6	45.1	6.0	2.3

学 校 種 等	学 年	実施 時期	児童 生徒数 (人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中 学 校	全 学 年	本年①	374	97.6	1.6	0.5	0.3	90.4	7.0	1.1	1.6	96.0	3.5	0.0	0.5	94.9	4.8	0.3	0.0
		本年②	366	98.6	1.1	0.5	0.3	95.6	3.8	0.5	0.0	97.5	2.2	0.0	0.3	97.3	2.5	0.3	0.0
	3	中3①	143	99.3	0.7	0.0	0.0	93.0	5.6	0.0	1.4	99.3	0.0	0.0	0.7	95.8	4.2	0.0	0.0
		中3②	137	99.3	0.7	0.0	0.0	97.8	1.5	0.7	0.0	98.5	0.7	0.0	0.7	98.5	1.5	0.0	0.0
	2	中2①	127	99.2	0.8	0.0	0.0	90.6	8.7	0.8	0.0	96.1	3.9	0.0	0.0	96.1	3.9	0.0	0.0
		中2②	132	98.5	0.8	0.0	0.8	94.7	5.3	0.0	0.0	97.7	2.3	0.0	0.0	97.0	3.0	0.0	0.0
1	中1①	104	93.3	3.8	1.9	1.0	86.5	6.7	2.9	3.8	91.3	7.7	0.0	1.0	92.3	6.7	1.0	0.0	
	中1②	97	97.7	2.1	0.0	0.0	93.8	5.2	1.0	0.0	95.9	4.1	0.0	0.0	95.9	3.1	1.0	0.0	
小 学 校	高 学 年	本年①	239	74.5	18.4	2.1	5.0	64.9	23.8	6.3	5.0	78.2	17.6	2.5	1.7	77.0	18.8	2.5	1.7
		本年②	236	77.5	15.3	4.2	3.0	69.9	22.5	3.8	3.8	75.8	20.8	1.7	1.7	77.5	18.6	3.0	0.8
	6	小6①	104	78.8	19.2	1.0	1.0	66.3	27.9	1.9	3.8	75.0	20.2	3.8	1.0	74.0	21.2	4.8	0.0
		小6②	103	73.8	17.5	5.8	2.9	68.0	26.2	1.9	3.9	73.8	21.4	1.9	2.9	77.7	17.5	4.9	0.0
	5	小5①	135	71.1	17.8	3.0	8.1	63.7	20.7	9.6	5.9	80.7	15.6	1.5	2.2	79.3	17.0	0.7	3.0
		小5②	133	80.5	13.5	3.0	3.0	71.4	19.5	5.3	3.8	77.4	20.3	1.5	0.8	77.4	19.5	1.5	1.5

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

4 課題・目標・取組

課題	人間関係づくりが苦手で、学習や授業に対する不安をもち、主体的に考え自分の意見を表現することが不得手な児童生徒が多い。
目標	学びに向かう集団づくりと授業における学習活動の相互の関連を図り、主体的に学習に取り組む児童生徒を育てる。
取組	①学びに向かう集団づくりと、分かる授業の工夫 ②児童会(生徒会)活動を中心とした体験活動の充実による発達課題の達成

5 重点推進事項

小・中共通	①認め合いの場の設定や感動体験の共有により、帰属意識の高い学級づくりを推進する。 ②交流の場の設定や学び合いのある授業の実践を通して、コミュニケーション能力を育む授業づくりを推進する。 ③児童生徒が生き生きと取り組める機会となるように、児童会(生徒会)活動の充実を図る。
中学校	①生徒主体の活動を増やすとともに、その企画や運営を任せることで、生徒の居場所づくりを推進する。

	②生徒が主体的に思考・判断し、表現する場を保障する授業づくりを推進する。
小学校	①縦割り班や異年齢集団の活動を充実させることで、自己存在感や自己有用感を高める。(全校) ②発言の取り上げ方の工夫や授業中の役割の設定などを通して、授業の中で活躍できる場を保障し、自信をもたせる授業づくりを推進する。(全校)

6 意識調査結果の分析と考察

成 果	成果があがったと考えられる主な理由
○「項目ア・イ」において、肯定的な回答を9割以上で保つことができた。	○運動会や宿泊的行事などの学校行事や自然体験活動などを通して、学級の団結が深まるとともに、感動体験の共有によって帰属意識が高まった結果、「学校が楽しい」の割合を高く維持することができた。
○「項目ア」の中学1年生において、肯定的な回答が小学6年生時と比べて高まりが見られた。	○中学校の情報を小学校に提供したり、各小学校間の連携を図ったりしたことにより、スムーズに中学校生活に適応でき、中1ギャップの解消につながっていた。
○「項目ウ」では、中学3年生と小学6年生において「当てはまる」と回答した数値が、最後の意識調査で5割を越えた。	○中学3年生は卒業後の進路実現に向けて、学習に対する意欲が高まった。小学6年生は中学校の学習に継続できるような自主学習への取組を促したことにより、自ら主体的に学習に取り組もうとする意識が高まった。
○「いじめに関する項目」において、中学校では「まったくなかった」と回答した生徒が95%以上であった。	○学業指導の実践により、集団内の人間関係を良好に保つことができ、居がいのある生活を送ることができた。また、いじめアンケートの実施や教育相談の充実等を通して、「いじめは決して許されない」という規範意識も高まった。

課 題	課題として残ったと考えられる主な理由
○「項目エ」において中学校では全学年において「あてはまる」と回答した生徒の減少が見られた。	○学年が上がるにつれて、各教科の学習内容が難しくなり、理解が不十分であった。教師は、分かる授業に向けた授業の工夫・改善を行っているが、生徒との意識に差があることも考えられる。
○「項目ウ」の中学1年生において、肯定的な回答は9割以上であるが、「あてはまる」の値が3割程度であった。	○肯定的な回答は3回目の意識調査を6.3%上回り、全体的な意識は高まった。自分の取組を客観的に見るようになり、自己評価の基準が高くなったため、「あてはまる」と回答した生徒が減少したことも考えられる。

<p>○地域独自項目「地域の行事やボランティア活動に進んで参加している」の中学校において、「あてはまる」と回答している生徒が2割程度であった。</p>	<p>○中学生にとって休日は部活動があり、地域で開催されている行事やボランティア活動に参加する時間が十分に確保できない状況であった。また、ボランティア活動のとらえ方に個人差があり、奉仕的な活動でもボランティアとなる意識が低いことも考えられる。</p>
---	---

7 2年間の調査研究の成果と課題

〔小・中共通〕

- ① 認め合いの場の設定や感動体験の共有により、帰属意識の高い学級づくりを推進する。
 - 学校行事に向けて学級が一つになって団結し、最後まで取り組むことで感動体験を共有し、「学校が楽しい」と回答した児童生徒が多かった。
- ② 交流の場の設定や学び合いのある授業の実践を通して、コミュニケーション能力を育む授業づくりを推進する。
 - ペアやグループで話し合う場を多く設定し、「聞くこと」「話すこと」に視点をあてた授業を展開したことにより、自分の意見や考えを表現できる児童生徒が増えた。
 - 話し合い活動の進め方について、児童生徒の認識が不十分で、リーダーを中心に意見をまとめることが達成されなかった。
- ③ 児童生徒が生き生きと取り組める機会となるように、児童会（生徒会）活動の充実を図る。
 - 中学校の生徒会中央委員が中心となり、小学校児童の活動を支援することができ、小・中学校が連携した取組へとつながった。
 - 児童会（生徒会）から地域へ貢献できるような、主体的な活動ができなかった。

〔中学校〕

- ① 生徒主体の活動を増やすとともに、その企画や運営を任せることで、生徒の居場所づくりを推進する。
 - 学校行事において、実行委員会を組織し、事前の準備から運営までを任せたことにより、生徒の居場所づくりが推進できた。
- ② 生徒が主体的に思考・判断し、表現する場を保障する授業づくりを推進する。
 - 学習課題の提示方法や導入、教材・教具の活用の仕方を工夫することで、進んで発言しようとする生徒が多くなった。
 - 学習内容の定着に個人差があり、個に応じた支援やさらなる授業改善が必要である。

〔小学校〕

- ① 縦割り班や異年齢集団の活動を充実させることで、自己存在感や自己有用感を高める。（全校）
 - 縦割り班活動の中で、高学年児童の役割を明確にし、児童に認識させることで責任感、自己有用感が育成された。
- ② 発言の取り上げ方の工夫や授業中の役割の設定などを通して、授業の中で活躍できる場を保障し、自信をもたせる授業づくりを推進する。（全校）
 - 一人一人の意見を生かし、発言しやすい環境づくりに取り組むことで、児童が

活躍できる場が保障され、自信をもたせる授業へとつながった。

- 定期的に授業研究会を実施したが、「授業がよくわかる」と回答する児童があまり増えなかった。

8 取組内容

(1) 月別実施内容

※「実施状況」の欄は、次の記号で取組内容ごとに示す。

- ・・・予定どおり実施
- △・・・時期を変更して実施又は実施予定
- ◇・・・計画書にはないが新たに実施
- ×・・・実施しなかった

<平成24年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	第1回推進委員会 通学班集会(全小)(全学年)	○ ○	第1回推進委員会 第1回連絡協議会[東京](小・中)	○ ○
5月	第1回意識調査(全小) ふれあい活動(益子小)(全学年)	○ ○	第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 先進校視察	○ ○
6月	第3回推進委員会 運動会(益子小)(全学年)	○ ○	第1回講演会【小中合同】 クリーン作戦(全学年)	○ ○
7月	児童支援活動(益子小)(全学年) ふれあい夏祭り(益子小)(全学年)	◇ ◇	河川清掃ボランティア(全学年) 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中)	○ ○
8月	第5回推進委員会 親子奉仕作業(益子西小)(全学年)	○ △	第5回推進委員会 第2回講演会【小中合同】	○ ○
9月	運動会(益子西小)(全学年) 国際理解集会(益子小)(全学年)	○ ◇	運動会への6年生招待	○
10月	奉仕作業(益子小)	◇	第4回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 県教委・町教委等の訪問	○ ○
11月	お楽しみ給食(益子西小)(全学年) 児童支援活動(益子小)(全学年)	◇ ◇	東部地区ブロック協議会参加 郡市中教研生徒指導部会で発表	○ ○
12月	第2回意識調査 「市販の検査」研修会(益子西小)	○ ◇	第2回意識調査(全小) 道徳教育研修会	○ ○
1月	第8回推進委員会 小・小交流活動(6年)	○ ◇	第3回小・中連絡協議会 教育研究発表大会(県教委主催)発表	○ ○
2月	第9回推進委員会 第2回授業研究会(小学校主催)	× ○	第2回連絡協議会[東京](小・中) 職場体験学習発表会(1・2年)	○ ○
3月	第10回推進委員会 6年生を送る会(全学年)	○ ○	新入生情報交換会 研究紀要・リーフレット作成	○ ○

<平成25年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	縦割り班清掃(全小・全学年) 教育課程特例校による外国語活動の実施(全小・全学年)	○ ○	第1回連絡協議会参加(小・中) 創立記念集会(生き方講話①)(全学年)	○ ○
5月	第1回意識調査(全小・5、6年) ワークショップ(益子西小・全学年)	○ ○	第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会(6月実施) 大縄跳び大会(全学年)	△ ○
6月	読み聞かせ(全小・全学年) 海浜自然教室【小・小交流】(全小・5年)	○ ○	第1回講演会【小中合同】(教職員対象) 第1回小・中授業研究会(中学校主催)	○ ○
7月	ふれあい夏祭り(益子小・全学年) 道徳公開授業(益子小・全学年)	△ ◇	河川清掃ボランティア(全学年) 運動会実行委員会(全学年)	○ ○

8月	親子奉仕作業（全小）	◇	第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第1回講演会【小中合同】（教職員対象）	○ ○
9月	運動会（全小・全学年） 国際理解集会（益子小・全学年）	○ ×	運動会への6年生招待（全小・6年希望者） 学校祭実行委員会（全学年）	○ ○
10月	ふれあい活動（全小・全学年） 校内授業研究会（全小・全学年）	○ ○	東部地区ブロック協議会〔茨城〕 学校祭（全学年）	○ ○
11月	学習発表会（益子小・全学年）	○	第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会（12月） 道徳公開授業（全学年）（2月）	△ △
12月	第2回意識調査（全小・5、6年）	○	第5回推進委員会・研究部会 「授業の約束」強調週間（全学年）	○ ◇
1月	小・小交流活動（全小・6年）	○	第4回小・中連絡協議会 入学説明会（授業公開・部活動見学）	○ ○
2月	第3回小・中授業研究会（小学校 主催）	○	第2回連絡協議会参加 立志式（生き方講話②）（1、2年）	○ ○
3月	6年生を送る会（全小・全学年）	○	第7回推進委員会・研究部会 研究紀要・リーフレット作成	○ ○

（2）重点推進事項の実施状況

〔小・中共通〕

①感動体験の共有

運動会や文化祭、発表会など学校行事に向かって、学級が一つになって団結し最後まで取り組むことで、全員が感動と達成感を味わうことができた。互いに協力し合える場の設定や、信頼感のある人間関係づくりを推進することで、所属感や連帯感が育成され、帰属意識の高い学級づくりにつながった。



②学び合いのある授業

授業において、ペアやグループで話し合う場面を設定し、課題解決に向けた学習形態を工夫した。話し合いの中で、友だちの考えと自分の考えを比較しながら意見を出し合うことで、互いに気づき合い、学び合う授業へと展開された。「話は最後まで聞く」というルールに従って、安心して発表できるよう配慮した。



③掲示物の作成

児童生徒が落ち着いて生活し、主体的な活動が促進されるような掲示物の工夫に取り組んだ。生徒会の文芸委員が中心となって、「魅力ある学校づくり掲示物」の作成を行った。掲示物を作成するための話し合いを重ね、活動の様子や感想などを掲



示することで、行事への取組を確認することができた。

〔中学校〕

①スマイルデー（大縄跳び大会）

学級代表の生徒が実行委員会となり、事前に行事計画書を作成し、スマイルデー（学級対抗大縄跳び大会）を実施した。昼休み等を利用して学級が一丸となって練習に取り組み、みんなで一つのことをやり遂げた充実感を味わうことができた。生徒に企画や運営を任せることで、生徒の居場所づくりが推進できた。



②教材・教具の工夫

生徒が「わかる」「できる」授業を目指し、教材教具や導入の工夫を行った。学習意欲を喚起させ、活躍できる場の設定や自信をもたせる授業づくりに取り組んだ。発表しやすい環境を整え、積極的な自己の表現活動につながるような学習支援を行うことで、学業指導の充実を図り、意欲的に学習に取り組む授業づくりを推進した。



〔小学校〕

①縦割り班活動

1年生から6年生までの「縦割り班」をつくり、校舎内外の清掃活動を行った。班長が中心となって清掃の仕方を指示したり、下級生の作業を手伝ったりする中で、発達段階に応じた自分の役割や責任、自己有用感を高めることができた。異年齢集団の活動を充実させることで、優しさや思いやりの心が育成されている。（全校）



②自信をもたせる授業

温かい雰囲気づくりや、一人一人発言を生かす学びの場の設定により、児童の学習意欲が高まり、主体的な授業への取組につながった。授業の中で、活躍する場が保障され、成功体験や成就感を味わうことで、自信をもたせる授業へと展開された。また、学習課題の提示の仕方を工夫するなど、個に応じた支援も行った。（全校）



9 事業担当者の活動

(1) 活動内容

実施要項の該当箇所	活動内容	
4 (1) 事業全般	魅力ある学校づくり調査研究事業連絡協議会への参加 魅力ある学校づくり調査研究委員会、推進委員会、全体研修会、研究部会の企画・運営	
4 (2)	小・中連携	小・中連絡協議会、小・中授業研究会、小・中合同講演会、学校行事への小学生招待、部活動見学週間、入学説明会
	小・小連携	授業参観、小・小交流活動（海浜自然教室、入学説明会）
4 (3) データ収集、分析等	意識調査の実施・分析、 教育相談の内容をデータベース化	
4 (4) 取組の評価	意識調査による評価 学校評価の実施	
4 (5) 資料作成、広報等	リーフレット、研究紀要の作成 取組成果のHPへの公開	

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・小・中連絡協議会や小・中授業研究会の実施により、小・中学校教員間の情報共有ができた。
- ・町教育委員会の支援により、連携校の海浜自然教室を同じ日に設定し、同一の活動プログラムを実施することで、小・小交流が推進できた。

<課題>

- ・児童生徒の指導に関する記録や教育相談の内容等をデータベース化し、情報の共有に努めたが、教職員の意識が不十分であった。

10 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

[重点推進事項]

- ・小・中連絡協議会、小・中授業研究会等において、事業担当者との連絡を密にして取組状況を把握し、課題解決の支援を行った。
- ・関係施設との日程調整や指導主事の訪問要請など、学校からの要望に対して支援を行った。

[課題と成果]

- 取組の過程で出てきた課題を解決するため、「人間関係づくり」・「学業指導について」の講演会開催の支援を行い、研修の推進が図られた。
- 小・中連絡協議会、海浜自然教室の日程調整等の支援により、小・中、小・小連携が図られた
- 小・中授業研究会において、指導主事の訪問を要請し、4教科の授業研究会と研究協議を行うことで、研究の推進が図られた。
- 調査研究委員会への参加が少なく、事業担当者からの報告で取組状況を把握した。課題解決に向けての継続的な関わりが不十分だった。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・町教育委員会との連携を密に図りながら、事業推進上の成果と課題の把握・分析を行い、中学校区の要請に的確に対応できる体制を整える。
- ・益子中学区の事業担当者を本県児童・生徒指導推進委員会の委員に委嘱し、2年間で計6回の委員会を通して、学業指導の充実の観点から取組を支援する。
- ・県内児童・生徒指導担当者悉皆の中央研修において成果発表を行うなど、様々な機会を通して、県下への周知と推進を図る。

〔課題と成果〕

- 小・中授業研究会の助言者としての要請を受け、集団づくりと授業づくりの相互の関連を図った「益子中版学業指導」の実践状況を把握し、取組の充実に向けて指導・助言を行うことができた。
- 本県児童・生徒指導推進委員会において、主に学業指導の観点から、事業推進における留意点や実践についての具体的な助言を行うことができた。
- 県教委主催の各種研修会における成果発表や「学業指導」指導事例集に益子中学校区の取組を掲載し、県内全小・中・高・特別支援学校に配布するなど、本事業の推進・充実に努めることができた。
- 県教育委員会として町教育委員会や学校との連携の場や回数を計画的に設定することを通して、PDCAサイクルの効果的な活用の在り方について研究する余地が残った。

11 「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

(1) 構成

所 属	人数	備 考（主な職名等）
栃木県教育委員会	1	指導主事
芳賀教育事務所	1	指導主事
芳賀地区広域行政事務組合教育委員会	1	指導主事
益子町教育委員会	1	指導主事
益子町立益子中学校	8	校長、教頭、教務主任、事務長、研究主任、学業指導部長、体験活動部長、調査研究部長
益子町立益子小学校	3	校長、学習指導主任、児童指導主任
益子町立益子西小学校	3	校長、学習指導主任、児童指導主任

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・小学校の学習指導主任と連携を図り、「学業指導の充実」が推進できた。
- ・連携校事業担当者が連絡を密にすることができた。

<課題>

- ・各学校の保護者代表（PTA会長等）が委員会に入っていなかったため、保護者への啓発が不十分であった。

12 作成資料等

<平成24年度>

○魅力ある学校づくり調査研究事業 リーフレット

○魅力ある学校づくり調査研究事業 研究紀要（中間発表）

<平成25年度>

○魅力ある学校づくり調査研究事業 リーフレット（2年目）

○魅力ある学校づくり調査研究事業 研究紀要（2年目）

13 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

○益子中学校ホームページ

【問い合わせ先】

所属	栃木県教育委員会学校教育課課		電話	028-623-3359	
職名	指導主事	氏名	福田 誉	よみがな	ふくだ ほまれ